

びわこ学園だより

# Biwako Gakuen Newsletter

vol.  
150

2025年(令和7年)  
10月発行

## もくじ

表紙	1P
各所の日常～2025年夏～	2～3P
びわこTopics	4～5P
職員紹介 (2024.8～2025年度着任)	6～8P
職員History① (医師・医療技術・事務職員編)	9P
職員History②(看護師編)	10P
職員History③(生活支援員編)	11P
協力ありがとう (R7年4月～R7年7月)	12P



暑さと楽しさの記録更新!

2025年「びわこの夏」!!



# 各所の日常～2025年夏～

## びわこ学園医療福祉センター草津

第1病棟



取るぞストライク!

第2病棟



生まれて初めての  
プールに挑戦したよ☆

第3病棟



ヨーヨーフリ♪  
かき氷も食べたよ

## びわこ学園医療福祉センター野洲

花火スタンプ楽しい♡

風船釣れた!



第1病棟



第2病棟

ミュージック  
シェアリングが  
やってきた♪



第3病棟

いらっしゃいませ~!



願いが叶いますように☆



やすリンピックに  
参加してきました!

## びわこ学園障害者支援センター



たいよう  
玉津小学校6年生と  
交流 (7/24、7/29)



ともるプチマルシェ  
(夏まつり・8/23)



ピアーズ夏フェス (7/23)



みんなといっしょに  
ボーリングをしたり…  
リコーダー演奏を聴いたり…  
楽しく過ごしました



綿あめ、かき氷、揚げパン、  
から揚げなどのキッチンカー来所!  
地元松が丘自治会の皆さんと  
楽しい時間を過ごしました  
大きな綿あめ、おいしいよ



LALALA友&楽吹  
(ララユーモラス) さんの  
演奏にあわせて  
いっしょに歌ったり、  
リズムを感じました

プール再開!  
とても気持ちよかったですね



さくらほうす



ナスの収穫をしました  
大きさも申し分のないです

## 知的障害児者地域生活支援センター



ひまわりほうす

リハビリ室で一休み  
駅が近いので  
電車がよく見えます



冷やしうどんと  
ハンバーグを作りました

## JICA国別研修「南アフリカ 障害児および家族のためのレスパイトケアサービス拡大プロジェクト」報告

びわこ学園医療福祉センター草津 医療部長 / 永江 彰子



2025年7月7-9日の3日間、国際協力機構(JICA)国別研修「南アフリカ 障害児および家族のためのレスパイトケアサービス拡大プロジェクト」を、びわこ学園法人全体で引き受けました。高谷清旧第一びわこ学園（現びわこ学園医療福祉センター草津）前園長著「はだかのいのち」をJICAスタッフが読んだことが、びわこ学園での本研修のきっかけになったと聞きましたので、研修冒頭で40年前の「抱きしめてBIWAKO」をご紹介します。

はるばる13,300kmの距離(びわこ外周235kmの約56倍)から、日本に研修を受けに来てくださると聞いた時は、これからの体験に心が躍りました。準備期間は3か月、ベトナムで青年海外協力隊経験のある内藤リハビリ課課長、JICA日下部氏、およびアイ・シー・ネット株式会社小林氏と計4名でオンラインにて研修プログラムを練り、下記関係者とプログラムを共有し、さらに自分自身も研修スライドを準備するという日々を過ごしました。

本研修の対象者は、南アフリカ中央社会開発省局職員やNPO関係者（居宅介護従事者、通所デイケアセンターのスタッフ、障害児の親等）社会開発事務所職員15名(内、車いすユーザー1名)と、JICA関係者等同行者7名の合計22名でした。



初日：すぐに作れる  
感覚おもちゃの紹介

初日午前は、やまびこ子ども療育センターやまびこ園（大津市）のご協力を頂いて、中村隆一先生（人間発達研究所所長）「障害児支援の歴史を知る。大津方式と大津の療育の歴史」、石川孝子先生「現代の障害児療育支援サービスの流れ」、および、林美和先生「大津の療育 やまびこ園について」の座学研修とやまびこ園内の見学でした。療育教室（やまびこ園）でのスタッフの温かい歓迎と子ども達の素敵な笑顔で、一気に緊張が緩みました。午後は口分田施設長の歓迎のあいさつからびわこ学園でのプログラムを開始し、武居びわこ学園障害者支援セ

ンター（以下、びわセン）所長「滋賀県の障害児者生活を支援する民間および行政のとりのくみ」と、永江「障害児者発達保障の思想」の座学研修がつづきました。創設者糸賀一雄先生提唱の「この子らを世の光に」の理念と、岡崎英彦初代園長のことば「本人さんはどう思てはるんやろ」を、医療と福祉の両視点から語りました。

2日目は、多久島氏（びわセン）および武居所長のご協力を得て施設（訪問看護ステーションちょこれーと。・多機能型事業所ちょらんど、生活介護事業所ピアーズ、センター草津外来・病棟・リハビリ課）を見学していただきました。研修者を4グループに分けて、びわこ学園法人内のさまざまな施設を見学頂き、現場の様子とエネルギーを感じてもらえたと思います。利用者衣服の再縫工の様子に研修者が感激され、「自国にこの発想はありません。」と、記念に持ちかえられたり、リハビリ中の車いす男児の「今日は僕の誕生日！」発言(英語です)に対し、研修者の盛大な拍手とサプライズのプレゼントがあったりと、現場スタッフだけでなく、外来病棟利用者や家族とも、さまざまな異国との触れあいがありました。



2日目：センター草津での  
研修開始



3日目：個別支援計画作成の様子

さて、3日目は、滋賀県重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センターこあゆの増野法人事業企画部課長、村井氏、および園田氏のご協力を得て、サービス等個別支援計画の講義と実習のプログラムとしました。また、この日は、厚生労働省での勤務経験がありかつ、医療的ケア児の支援に長く関わっておられる埼玉医科大学総合医療センター小児科奈倉道明先生のご協力も頂きました。午前中は、「個々の障害児者の生活をプログラムする方法」1)日本の障害者支援サービスの位置づけ、2)サービス等利用計画と個別支援計画の策定方法の2テーマをそれぞれ、奈倉先生と増野課長より座学で研修、午後からは、南アフリカの実際の症例に対して個別支援計画を作成し、発表するという研修の集大成でした。びわこ学園での3日間の過ごしで、研修者の皆様とスタッフはすっかり打ち解け合い、意気投合して、双方に実りある実習となりました。特に、最終日となった3日目には、研修者皆様が正装で参加され、昼食後にはレイボスティとお菓子でのお茶会、素晴らしいリズム感の南アフリカのダンスと日本の踊り…と、話はつきませんでした。

異国の文化に触れ、自国のことをさらに深く知り得た貴重な機会でした。今回お引き受けした本プロジェクトにご興味のある方はぜひ、永江までご連絡ください。



3日目昼食後：正装南アフリカ勢からダンス



3日目昼食後：日本勢から盆踊り

# 職員紹介

～2024年度(8月)から  
2025年度着任～

## びわこ学園医療福祉センター草津



薬剤師/岡 恭代

- ①それぞれ専門性をもった多職種が連携しながら、利用者さんの治療や生活を支援していると感じました。
- ②これまでの経験を活かし、びわこ学園の一員として、利用者さんの治療に貢献していきたいと思っています。



心理判定員/山下 美文

- ①利用者さんの僅かな変化への気づきや思いに寄り添った関わり、また、日常的に多職種間で意見交換をされている場面はとても印象的で、学ばせてもらうことばかりです。
- ②利用者さんや外来患者さんと丁寧に関わりながら、その方の理解を深め、心理としての役割を少しずつでも担っていきよう努めたいと思います。



看護師/岩井 なぎさ

- ①利用者さんとの関わりの中で反応や表情の変化に気が付いた時が嬉しいです。
- ②利用者さんの生活が充実できるように日々丁寧にケアを行っていききたいです。



看護師/太田 聡

- ①日々を過ごされる中で利用者さんにとってより良い日々を過ごしてもらおうと取り組んでいる多職種の方々に感謝しています。
- ②自分もその中の一員として日々精進し、利用者さんに関わっていききたいと思っています。



看護師/上原子 ちひろ

- ①利用者様のささいな変化に少しずつ気づけるようになってきたなと感じた時。
- ②まだ不慣れなことが多々あるので、日々の学習や先輩の力を借りながら成長していく。



看護師/久保 李香

- ①毎日仕事をしていく中で、利用者さんの小さな変化に気づくことができるようになってきたことはとても嬉しく思います。
- ②まだまだ覚えることも多く毎日大変な日々ですが、利用者さんと一緒に時間を共有しながら仕事を頑張りたいと思います。



看護師/塚本 直人

- ①生活介助が多いので大変というのが第1印象です。呼吸器の方が多く、経験が少ないために難しいです。
- ②個別性に合わせた看護を考えて、遂行できるようにします。



看護師/中野 寛子

- ①利用者様の個性を考えた看護・生活支援が日々の活動に沢山盛り込まれていることです。また呼吸器を引っ張りながらのお風呂介助は驚きました。
- ②慣れない事が多々あり右往左往しているところですが、個性を考えたケアが1年後にはスムーズに出来て、良いチームワークが取れる様にしていきたいです。



看護師/吉村 知子

- ①利用者さんの活動などに同席し、利用者さんの笑顔や表情の変化などが見られたときはうれしかったです。
- ②臨時職員から正規職員になったので、より深く利用者さんのことを知り、生活を支えさせて頂きたいと思っています。



看護師/伊東 由花

- ①利用者さんの生活の場でそれぞれがその人らしく生活できるようにケアを行うなかで様々な反応や表情をみることで嬉しく思います。
- ②自分が理想とする看護を目指しながら、利用者さんの思いを常に考え寄り添った看護ができるように頑張っていきたいと思っています。



看護師/鈴木 孝一朗

- ①当初考えてたよりも多くの業種の人々が関わっており、たまに帰宅されたり推しのコンサートに参加したりと、その人らしい生活を送られているなどと思います。
- ②職員は利用者のご家族様より長い時間関わる事も多いため、「第二の家族」の気持ちを持ってケアや療育活動に積極的に加わっていききたいと思っています。



看護師/芦原 希乃花

- ①利用者さんとの関係性を築いていく中で、意思疎通が図れたり、利用者さんの笑顔がみられることに看護の楽しさを感じています。
- ②毎日の看護に、楽しさややりがいを感じながら、利用者さんにとってより良い看護を提供できるように日々頑張っていきたいです。

今年度もはや後半。着任された皆さんは、4月以降定期的に研修を受けながら、配属部署で先輩職員と共に利用者支援に頑張っています。就職してこれまでの日々の中で感じていることやこれからについて綴ってもらいました。

### 【自己紹介について】

#### 職種／名前

- ①(就職して)印象に残っていること・うれしかったこと
- ②これからの抱負



#### 看護師／大橋 愛紗

- ①日々の関わりの中で、個別性に応じた対応をとれるようになっていき、利用者の皆さんの笑顔や反応が返ってくる事が増えてきました。とてもやりがいを感じています。
- ②利用者の皆さまはもちろんですが、そのご家族さまにも安心して頂けるような看護師を目指して、日々学んでいきたいと思っています。



#### 看護師／草川 晶子

- ①初めは分からなかった利用者さんの表情や考えていることが少しずつ分かるようになり自分なりにコミュニケーションを取れるようになったことが嬉しいです。
- ②利用者さんの個別に合わせた関わりや家族さんとの関わりに積極的に家族看護の面も学びたいです。



#### 看護師／豊沢 竜太

- ①コミュニケーションを図ることの難しさを感じたと同時に利用者さんの気持ちを読み取れた時は嬉しかったです。
- ②一日も早くそれぞれの利用者さんの特徴を理解し、看護師が替わっても継続看護が提供できるよう努めて参ります。



#### 生活支援員／田中 稔乃

- ①サークルなどに参加したり、外出したりして利用者さんが意欲的に行動されている時、生き生きとした表情を見た時、その場に居れることが嬉しくなります。
- ②利用者さんも職員も、生き生きとできる時間が少しでも増える事を願って、がんばっていきたいと思います。学ぶことがたくさんあると思います、ご指導宜しくお願いします。



#### 生活支援員／野間 風汰

- ①利用者さんと関わりを持つ中で、以前よりも利用者さんの趣味趣向が分かるようになってきたことや食事や水分を摂って貰えるようになった事を嬉しく思っています。
- ②日々の中で利用者さんの体調やして欲しいことは変化していく為、その時々合った支援ができるよう利用者さんの変化に気づく事が出来るようになりたいと考えています。



#### 書記／赤坂 智子

- ①年1回、看護研修(保険や施設のお金等)の講師を依頼してもらえたことです。
- ②医事課の立場からみえる問題について、提案・検討して改善に努めたいと思います。



#### 書記／小林 ルミ子

- ①医事課で20年近く組織の流れを見つめながら、他部署とのやり取りの中で小さな変化を紡いできたことは「医事」ならではなく嬉しく感じてきました。
- ②電子カルテ導入を機に他部署の人との直接的な関わりが減りましたが、全体を見渡せる医事課視点を活かし、今後も裏方として支える存在であり続けたいです。

## びわこ学園障害者支援センター



#### 相談支援専門員／吉田 幸泉

- ①利用者さんとそのご家族、支援者が同じ方向を向いていると実感した時。
- ②いろんな方との出会いを大切に、またその縁を必要とする方々に繋げていきたい。



#### 生活支援員／木下 勝登

- ①呼吸器を必要とする重い障害をお持ちの方でも在宅で過ごし、地域の事業所に通う生活をする姿が印象的でした。
- ②利用者様に「楽しかった」と思っただけのように、日々充実した活動の提供が出来るように努めます。



#### 生活支援員／井上 和美

- ①日々の過ごしの中で、少しでも利用者様の思いに近づけたかなという感覚があった時嬉しく思います。
- ②利用者様・職員ともに毎日楽しく・おもしろく過ごしたいです。



#### 看護師／北村 真理

- ①利用者様が笑顔や何らかのサインをしてくださった時に、うれしく思います。
- ②利用者様が毎日安心して楽しく過ごしていただける様に、びわこ学園ならではの看護を学びながら、成長していきたいです。

# 職員紹介つづき

## びわこ学園医療福祉センター野洲



医療部長・医師／神谷 一郎

- ①本人さんはどう思うてはんにやる。この言葉に、びわこ学園の全てが込められているように思います。
- ②One for all, all for oneの精神で利用者さんを支えたいと思います。



看護師／麻田 花鈴

- ①利用者さんと活動や行事、日々の過ごしの中で一緒に楽しい事を共有することです。
- ②利用者さんとこれからも一緒に楽しむことを大切に働いていきたいです。



看護師／岩澤 光沙

- ①利用者様の笑顔と、スタッフの方が、親切に分かりやすい指導をしていただき、毎日、嬉しく思います。
- ②早く利用者様との信頼関係を築き、元気に楽しく頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。



看護師／浦山 昌美

- ①他職種で連携して働かれていたことが印象に残りました。また、相談員の中島秀夫先生の講演資料の言葉が印象深かったです。
- ②利用者の方々の思いが聞けるよう日々努力していきたいです。



看護師／北野 裕子

- ①喜怒哀楽と一緒に感じられることが人間らしくてとても良いと感じました。利用者さんと職員が共に生きている感じが好きなおところです。
- ②共に育っていかれたらと思います。



看護師／岩崎 昌敏

- ①いつも表情が乏しく笑顔が見られなかった利用者さんと笑顔でコミュニケーションが取れるようになったとき。
- ②どう思っているんやろ？と常に考えながら関係性を構築で出来るように関わっていきたくと思います。



看護師／津嶋 鈴華

- ①散歩に行ったり活動に参加する中で利用者さんの笑顔をみれたこと。
- ②不慣れなことも多いですが利用者さんにより良い生活を送ってもらえるようもっと看護を学んでいきたいと思いません。



生活支援員／橋本 実咲紀

- ①始めにお食事を食べていただいたときが一番嬉しかったです。
- ②利用者さんのことをより深く知りその人にとっての最善の支援とは何か考えること。



生活支援員／尾花 雅彦

- ①男性利用者の排泄介助の場面で、汚れたところの掃除をしていたら利用者さんに「いつも、ありがとう」と言ってもらえたこと。
- ②何度失敗しても、「成功体験」に繋げ、いつもポジティブな気持ちで支援を行い、利用者さんとの関係性を深めていきたいです。

## ①医療・医療技術・ 事務職編

びわこ学園は病院機能と福祉機能を併せ持った法人であり、多様な職種の職員が利用者支援に携わっています。今年もそれぞれにびわこ学園で働く中で感じていることを綴っていただきました。

びわこ学園に就職してから、10年が経ちました。

新人としてびわこ学園に入職したときには、前の職場に比べて、呼吸器や胃瘻・腸瘻など医療処置をされている利用者さんが多く、理学療法士として何が出来るか悩んでいました。

そのような手探り状態の中、日々利用者さんに関わらせていただくことで、表情などの言葉以外の表現によって、体調や気持ちを伝えてくださることに気づき、それに合わせて理学療法は何をしたらいいかを考える学びともなってきました。

今まで関わってきた、たくさんの利用者さんから教えていただいたことを糧としながら、これからも利用者さんの安定・安心に努めていきたいと考えています。



栗田 佳奈  
理学療法士・11年目  
びわこ学園医療福祉センター草津

びわこ学園に来た当初は、これまで経験してきた医療現場との違いに戸惑うこともありましたが、障害のある方々とじっくり関わる中で、この医療の奥深さとやりがいに気づかされました。

表情やわずかな反応を通して、こちらの思いが伝わったと感じる瞬間、また利用者さんの気持ちが伝わったと感じる瞬間に、互いに通じ合えた喜びを実感するようになりました。

この数年で感じてきたのは、医学的な知識や技術以上に、人との関係性こそがケアの土台になるということです。

これからも利用者さんやご家族と丁寧に向き合いながら、チームの一員として、安心できる医療の提供に努めていきたいと思えます。

伊藤 隆洋  
医師・4年目

びわこ学園医療福祉センター野洲



2020年、コロナ禍真っ只中に就職しました。事務職として働くのは、びわこ学園が初めてだったため右も左もわからない状態で、先輩方にご指導いただきながら目の前の業務をこなすことに精一杯でした。

年数が経つにつれ、利用者の方とのかかわりも多くなり、「自分の担当業務が利用者みなさんの生活にどのようにつながっているのか」と考えることが増えました。業務に行き詰まったときにも、そのつながりを考えると前進する力が出たり、自分のやるべきことが見えてきたりします。

まだまだミスも多いですが、周りの方々に支えていただきながら働けている環境に感謝しています。これからも、みなさんのお役に立てるよう精進したいと思います。



堀田 乃梨  
書記・4年目  
びわこ学園医療福祉センター草津



森 真奈美  
臨床検査技師長・11年目

びわこ学園医療福祉センター野洲

2015年にびわこ学園に入職させていただいて、早10年。振り返ると色々あったようで、あっという間だった気がします。

私は利用者さんの検査を担当しておりますが「検査」というものは必要なことではある一方で、利用者さんにとっては楽しくない、怖いことである事が多いです。そんな不安や緊張を抱えながらも頑張って受けようとしてくださったり、少しずつできることが増えていったりする姿を見ると、こちらが逆に励まされより頑張らねばと感じます。それは10年前から変わりません。

少しでも安心して検査を受けて頂けるよう、気持ちに寄り添う姿勢を忘れずに業務に取り組んでいきたいと思えます。

2017年に就職して結婚し、二人の子どもに恵まれ、仕事と子育ての両立の日々を送っています。

子どもの急な体調不良時も、職場の理解と協力があり、働き続けることができています。

時短勤務のため、「記録はできてる？帰れる？」と気遣ってくれ、「子どもさん体調大丈夫？」と心配してくれる職場の雰囲気は私の大きな支えです。また、たわいもない話も、心の励みになっています。

看護師として医療的ケアだけでなく、利用者さんの「生活＝人生」に寄り添うことの大切さを学びました。これからも、1人ひとりがその人らしく過ごせるように、サポートしていきたいと思っています。



友藤 未紗  
看護師・6年目

びわこ学園医療福祉センター草津



長友 かなで  
看護師・4年目

びわこ学園医療福祉センター野洲

びわこ学園に看護師として就職をして、4年目になります。はじめは何もできず、先輩方に色々なことを見て聞いて学び、なんでできないんだろうと思うことが多々ありました。ですが、回数を重ねるごとに出来ることが増えていくのが嬉しかったのを覚えています。今でも分からないことは多いですが、先輩に相談しながら業務をこなしています。

仕事をしていくうちに、新しい業務が増えてきて時間配分がうまくいかず焦ることがありましたが、利用者さんとの会話や関わり、笑顔から癒しをもらいがんばろうと思えることが多くありました。

これから経験することが多くあると思うので一つ一つを大事にして利用者さんと関わったり、看護師として働いていけたらなと思っています。



私は社会人から看護師になり、新卒でびわこ学園に入職しました。初めは覚えることが多く、日々の業務をこなすことに精一杯でよく先輩からは「落ち着け」と諭されていました。入職してからずっとめまぐるしく気づいたら10年経っていたという感覚です。

改めて10年という月日を振り返ってみると私は利用者さんや職員のみんに恵まれ、支えられながら働いていたなと思います。10年間の中で利用者さんのエピソードは沢山あって書ききれませんが、いいことも悪いことも利用者さんから全部教えてもらってきました。本当にありがとうございます。

これから先もいろんな事があると思いますが、それでも利用者さんと一緒に毎日過ごしていきたいと思っています。



後藤 敦貴  
看護師・11年目

びわこ学園医療福祉センター野洲



尾崎 悠  
看護師・4年目

びわこ学園障害者支援センター・  
生活介護事業所えがお

びわこ学園に最初は臨時的任用職員として働き、現在は正規職員（長浜市・米原市の委託事業である医療的ケア児等コーディネーター専従）として4年目になります。

思い返せば、就職した当初は利用者さんの身体に触れるのも怖く、生活介護（えがお）での看護や障害福祉・地域生活のことが理解できないまま進む日々でした。毎日、今日こそ退職すると言おう、と思っていましたが、利用者さんやご家族さん、職員の皆様の支えがあって今日まで過ごしております。

現在は地域支援を主に、様々な問題解決などに取り組んでおり、地域支援でのやりがいや楽しさを感じている毎日です。これからも医療的ケア児等の皆さんが、その人なりの地域生活が歩める何かしらの一助になれるよう、精進していきたいと思っています。

就職のきっかけは、親戚に重症心身障害の方がいたこともあり、身近な障害者が重症心身障害だったことだなと感じます。就職したのはいいものの環境も大きく変わり、私自身、「このままやっていけるかな…」と不安を抱えながらの1年目を過ごしました。ですが、1年目も終わるころには利用者との関係も少しずつ出来てきたからか楽しく感じる場面も増えました。

私の中で、印象に残った事は「そんなに頑張らなくていいよ」と先輩に言われた事です。1年目という事もあり、無意識的なのか意識的なのか力が入り過ぎていたんだと今さらながら感じています。先輩にそういわれたこともあり、そこからはだんだんと力も抜けていき、無理をすることなく仕事をするようになり、気持ち的にも前より穏やかな状態で仕事ができているかなと個人的には思っています。

来年度には、5年目になり異動やチューター等の環境の変化が起こるのかなとすでに感じています。自分の心身の体調にも気を付けながら楽しく仕事ができたいいなと思っています。



**小川 琴音**  
生活支援員・4年目  
びわこ学園医療福祉センター草津



**鵜飼 麻**  
生活支援員・11年目  
びわこ学園医療福祉センター野洲

2010年にびわこ学園に就職し、有難いことに病棟が変わることなくお世話になっています。その間に結婚し、産休育休を明けて今は育児時短勤務となり、自分の変化を利用者に見守っていただき、育ててもらってきたなと思います。また、私自身も利用者の重度高齢化による身体的、生活の変化をみてきたのかなと思っています。

これからも岡崎先生の「本人さんはどう思てはるんやろう」という言葉を原点に、昔と現在、未来の利用者の姿を想像し、寄り添った支援が出来るようにしたいです。また、新人の頃と変わらないような気はしますが…この人と一緒にいると居心地が良いな、楽しいな、どんなことしてくれるかな と思ってもらえるような人になりたいなと思っています。



**近藤 牧央**  
生活支援員・6年目  
知的障害児者地域生活支援センター・さくらはうす

15年以上エンジニアの職についていた私がびわこ学園に入職してから今年で6年目となりました。元職のキャリアを生かせる就職活動の繋ぎとしてアルバイト気分で「ケアホームともの」で生活支援員としてたくさんの学園の職員や個性豊かな利用者さんと同じ時間を過ごしているうちにすっかりびわこ学園の世界に巻き込まれてしまい現在に至ります。振り返って見れば利用者さんとのように接してよいのか全く解らず関わっていると、「嫌!」「他の人に代わってよ」と応えられたこともありました。そんな時に教えられた言葉が「全部利用者さんが教えてくれるよ」の先輩の言葉でした。あれこれ悩みながらも一緒に笑い、ともに過ごしているうちに「おーい近藤さーん」「早く来てよー」等呼ばれているうちにお互いが元気を貰っていることに気が付きました。これからも悩みながら、笑いながらこの場所に居たいな、と思っています。



**大森 賢**  
生活支援員・4年目  
びわこ学園障害者支援センター・ケアホームともの

びわこ学園で働き始めて早5年が経ちました。就職氷河期世代真っ只中の私としては、先の見えない自分の人生にひと筋の光が差し込んだように感じられ、不慣れた介護の現場ではありつつも毎日学びのつもりで働かせていただいております。利用者さんの為に粉骨砕身、といった御大層な事を申し上げるつもりもありませんが、日々業務を続けていく中で利用者さんと触れ合いながら自分自身も少しずつ見えてきた変化を実感しております。自身を取り巻く環境下で、職員に恵まれ、利用者さんに恵まれ、もっと早くこの仕事にたどり着けていたら、と悔やんでなりません。自分で介護の仕事に向いていると思ったことはありませんが、今も続けていくことが出来ているのは周りの人のお陰だと感謝の気持ちを忘れず、これからも精進を重ねていく次第でございます。

# ご協力ありがとうございます

令和7年4月～令和7年7月 (敬称略)

## 寄付金

(寄付金についてはいただいた方の御名前または団体名のみご報告させていただきます。)

### (法人)

白石 剛

### (びわこ学園医療福祉センター草津)

中村マサエ

### (びわこ学園医療福祉センター野洲)

市田 務/谷口哲雄

## 物品の寄付

### (びわこ学園医療福祉センター草津)

食 品・・・小島利賀/石塚義之・千恵

その他・・・磯尾博司/奥村紀明氏後見人田口勝之/西村隆正

### (びわこ学園医療福祉センター野洲)

食 品・・・南桜農業生産組合/服部重正/森ケイ子/京都看護大学

日用品・・・今井和子/小幡良雄/金田教会

その他・・・草津カトリック教会/滋賀県児童成人福祉施設協議会

### (びわこ学園障害者支援センター)

延べ15名の皆様からお菓子、お野菜など食品類の物品寄付をいただきました



## ボランティアのみなさん

### (びわこ学園医療福祉センター草津)

天理教江西支部/山科たんぽぽ/すずらん/御子芝貴美子/宇野郁子/尾浦与子/BusuClover/  
滋賀医科大学看護学科ボランティアサークルの皆様/西浦正一/坂口博昭/香川典代/元井芳嗣/近松清司/  
三宅美恵子/枘谷美代子/田辺久子/増野良子/向吉昌代/加藤美由紀/前田五月/西尾悦子/田中智子/  
西川千晴/奥田多恵/池田はるか/伏見真奈美/鈴木俊子/石田登美子/西本恵美/宮本咲弥

### (びわこ学園医療福祉センター野洲)

近江金田教会/K-Iクラブ/更生保護女性会/野洲組・栗東組天理教婦人会/野洲音訳グループさえずり/  
ニレトミ会/野洲赤十字奉仕団/大津友の会/レイカディア学園芸科45期A/レイカ野洲/秋末文孝/  
秋末道子/安藤真紀/磯 春樹/上田順子/加藤常満/川端しづ子/辰市由香/左部真千恵/東郷 勇/  
中富恵子/堀田千景/森 紳司/元木恭子/元木隆治/木村真由美/枘谷幸一/枘谷美代子/水津さゆり/  
岡林 努/関口展平

### (びわこ学園障害者支援センター)

中野早苗/赤松きみこ/森富佐子/垂髪あかり/笠縫東学区更生保護女性会 卯田美千代

## その他の協力団体・会員

びわこ学園後援会 各施設等での事業補助



社会福祉法人  
**びわこ学園**

発行責任者 理事長 口分田 政夫  
編集責任者 法人事務局 田處 浩吉  
印 刷 近江印刷株式会社

法人事務局  
びわこ学園医療福祉センター草津  
びわこ学園医療福祉センター野洲  
知的障害児者地域生活支援センター  
びわこ学園障害者支援センター  
びわこ学園長浜診療所

TEL 077-587-1144 〒520-2321 野洲市北桜978-2  
TEL 077-566-0701 〒525-0072 草津市笠山八丁目3-113  
TEL 077-587-1144 〒520-2321 野洲市北桜978-2  
TEL 077-527-0494 〒520-0802 大津市馬場二丁目13-50  
TEL 077-585-8040 〒524-0014 守山市石田町707  
TEL 0749-53-2771 〒526-0845 長浜市小堀町122番1